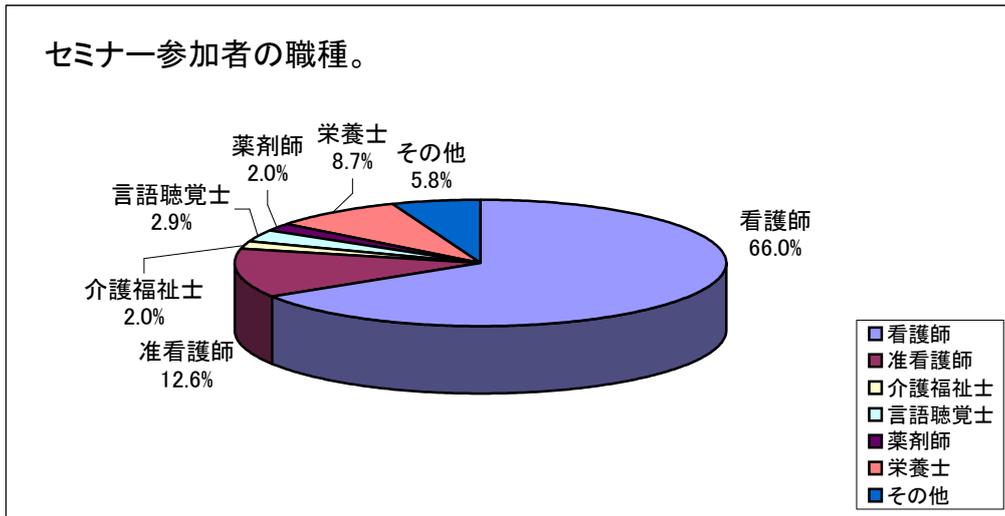


第2回山口県PDNセミナー（平成18年1月）

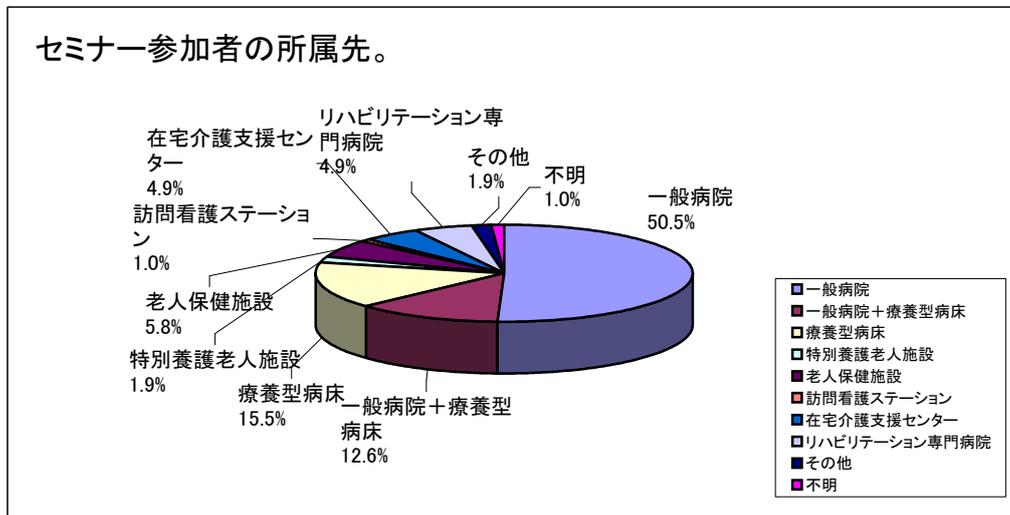
アンケート集計結果

I. セミナーには、どのような方が参加したのか？

□ 職種。



□ 所属先。

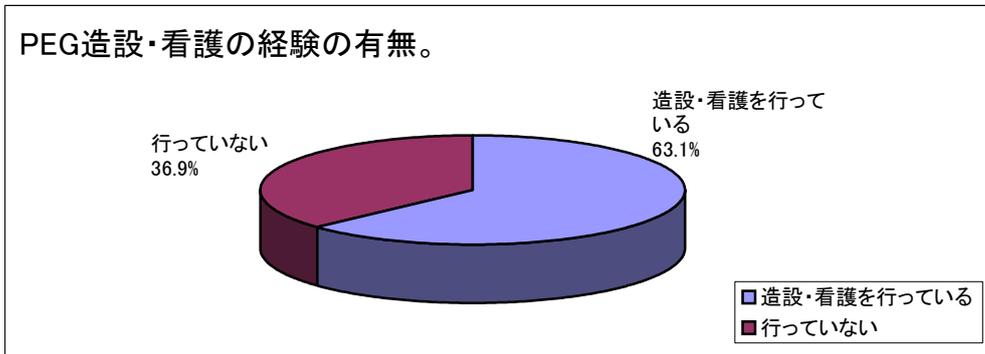


□ 所属先の所在地。

N 100%=	下関市	山口市	山陽小野田市	周南市	広島市	奈良・橿原市	不明
103	83 80.6	14 13.6	1 1.0	1 1.0	1 1.0	1 1.0	2 1.9

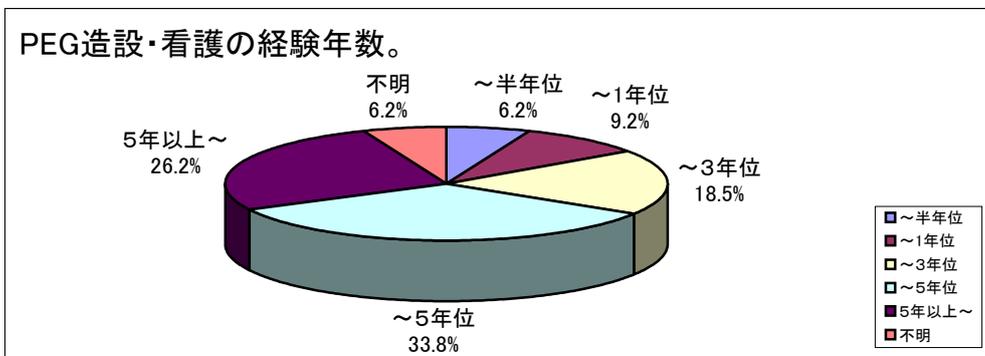
II. セミナー参加者のPEGとの関わり。

□ PEG造設・看護の経験の有無。



N=103

□ PEG造設・看護の経験年数。(造設・看護を行っている人について)



N=65

□ 所属先の胃ろうを入れられた患者さんの有無と人数。

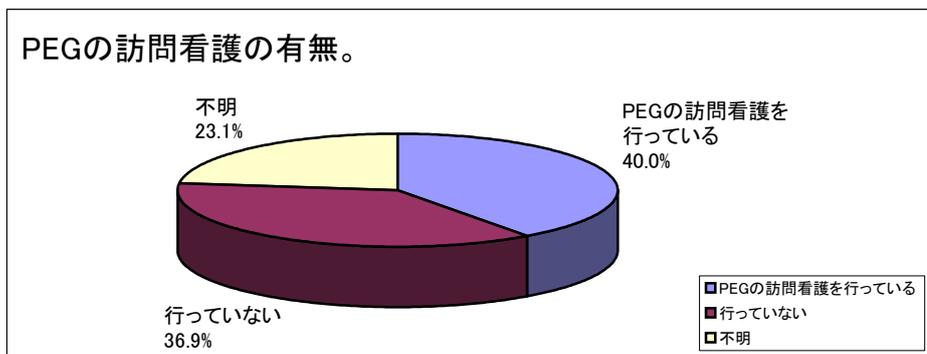
(造設・看護を行っている人について)

N 100%=	胃ろうを入れられた患者さんがいる					
	計	~5人	~10人	~20人	21人以上~	人数不明
65	54 83.1	13 20.0	5 7.7	10 15.4	9 13.8	17 26.2

(つづき)

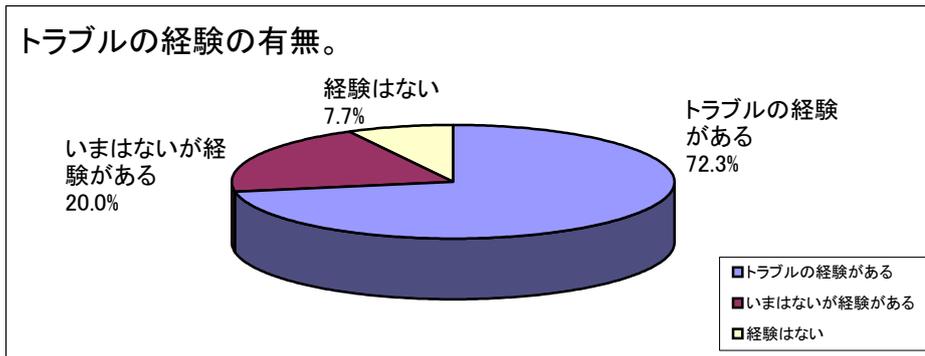
N 100%=	患者さんはいない	不明
65	10 15.4	1 1.5

□ 所属先のPEGの訪問看護の有無。(造設・看護を行っている人について)



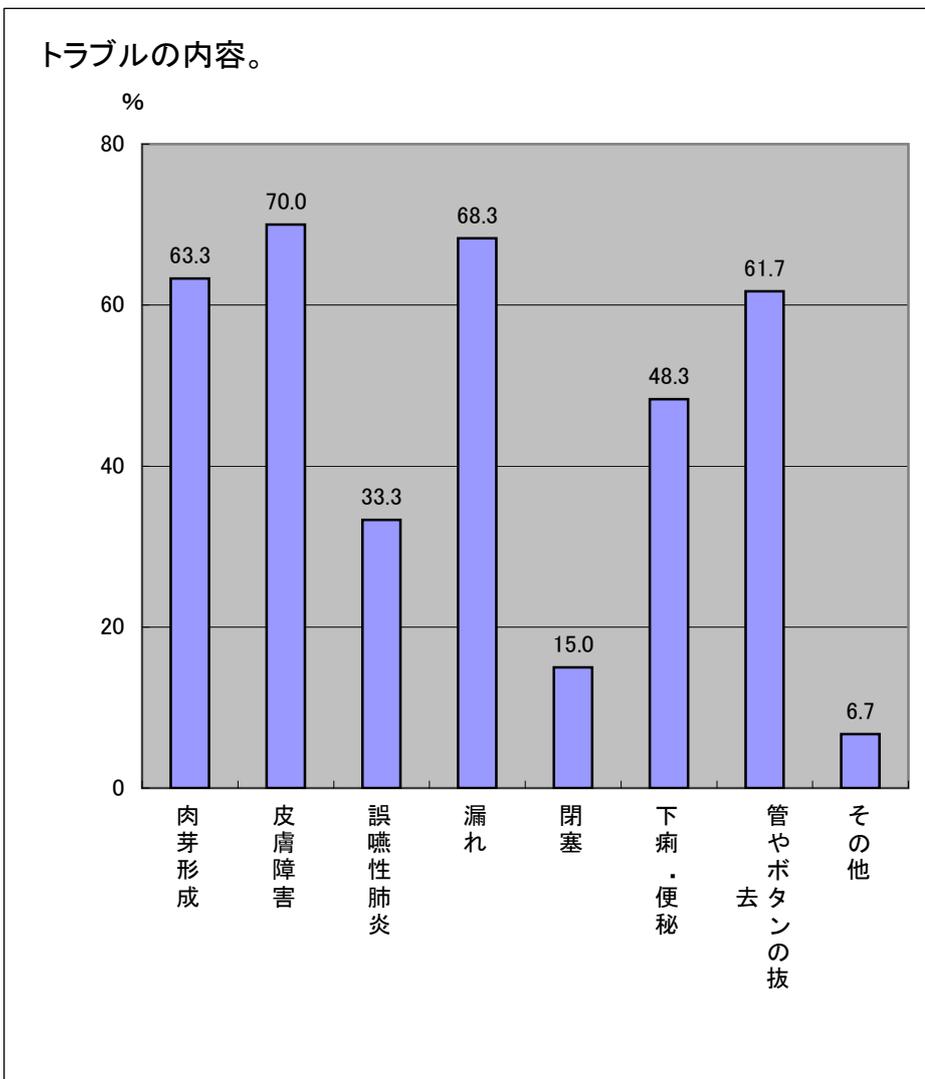
N=65

□ 看護の中でのトラブルの有無。(造設・看護を行っている人について)



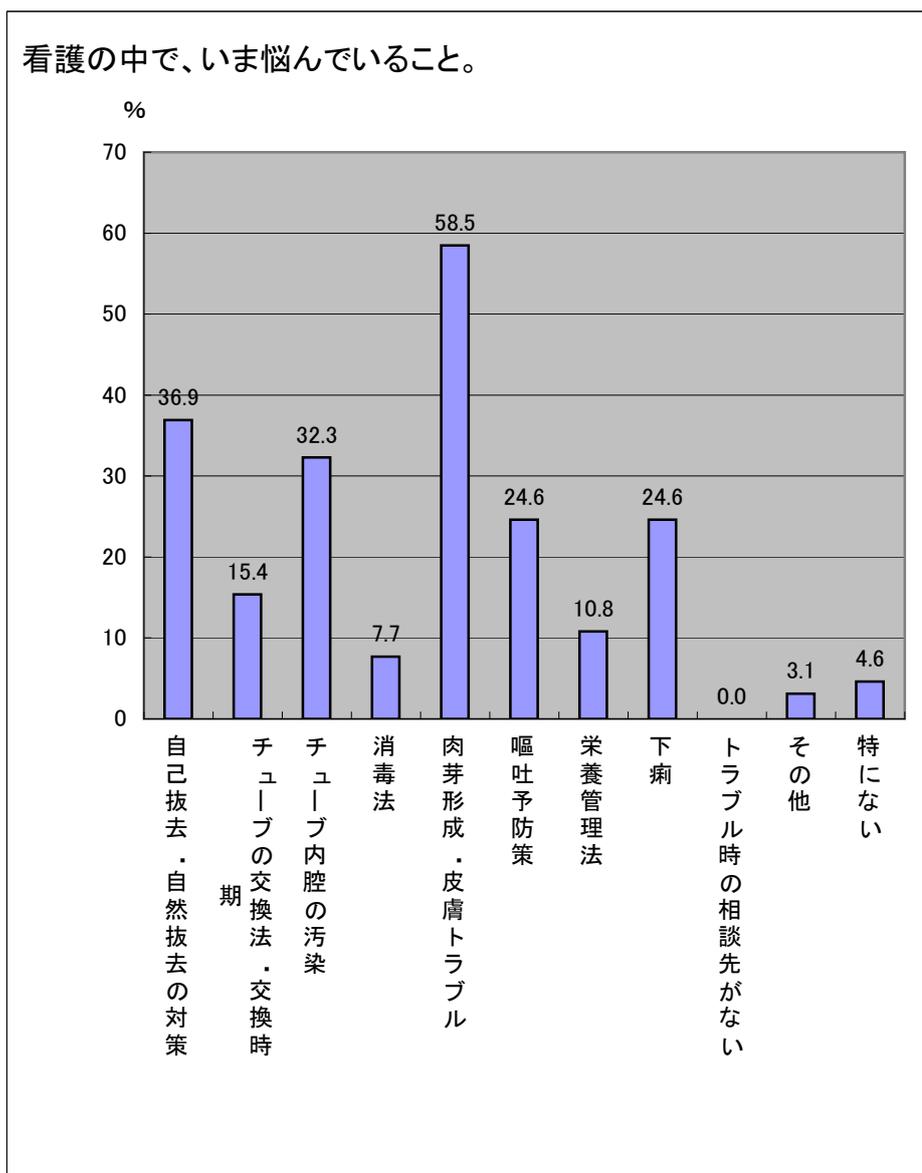
N=65

□ トラブルの内容。(造設・看護を行っている人で、トラブルの経験がある人について)



N=60

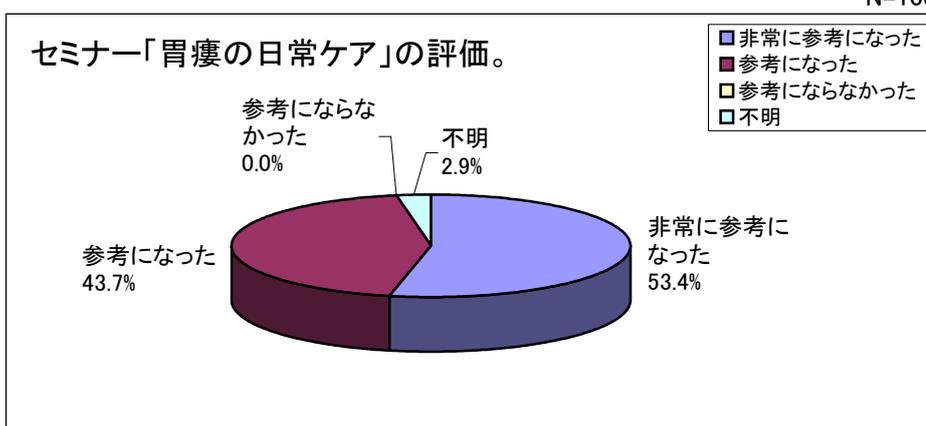
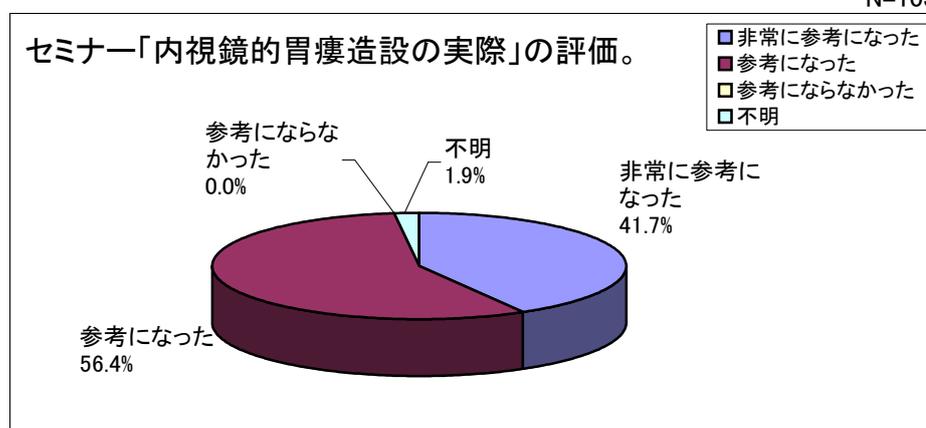
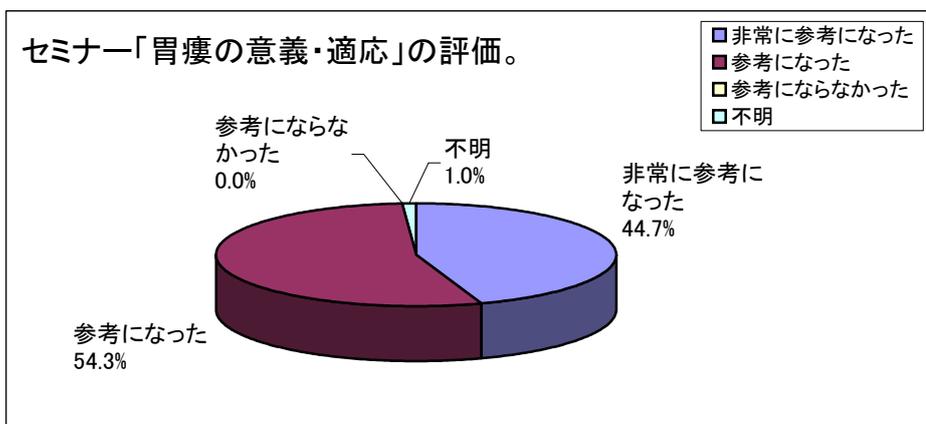
□ 看護の中で、いま悩んでいること。(造設・看護を行っている人について)



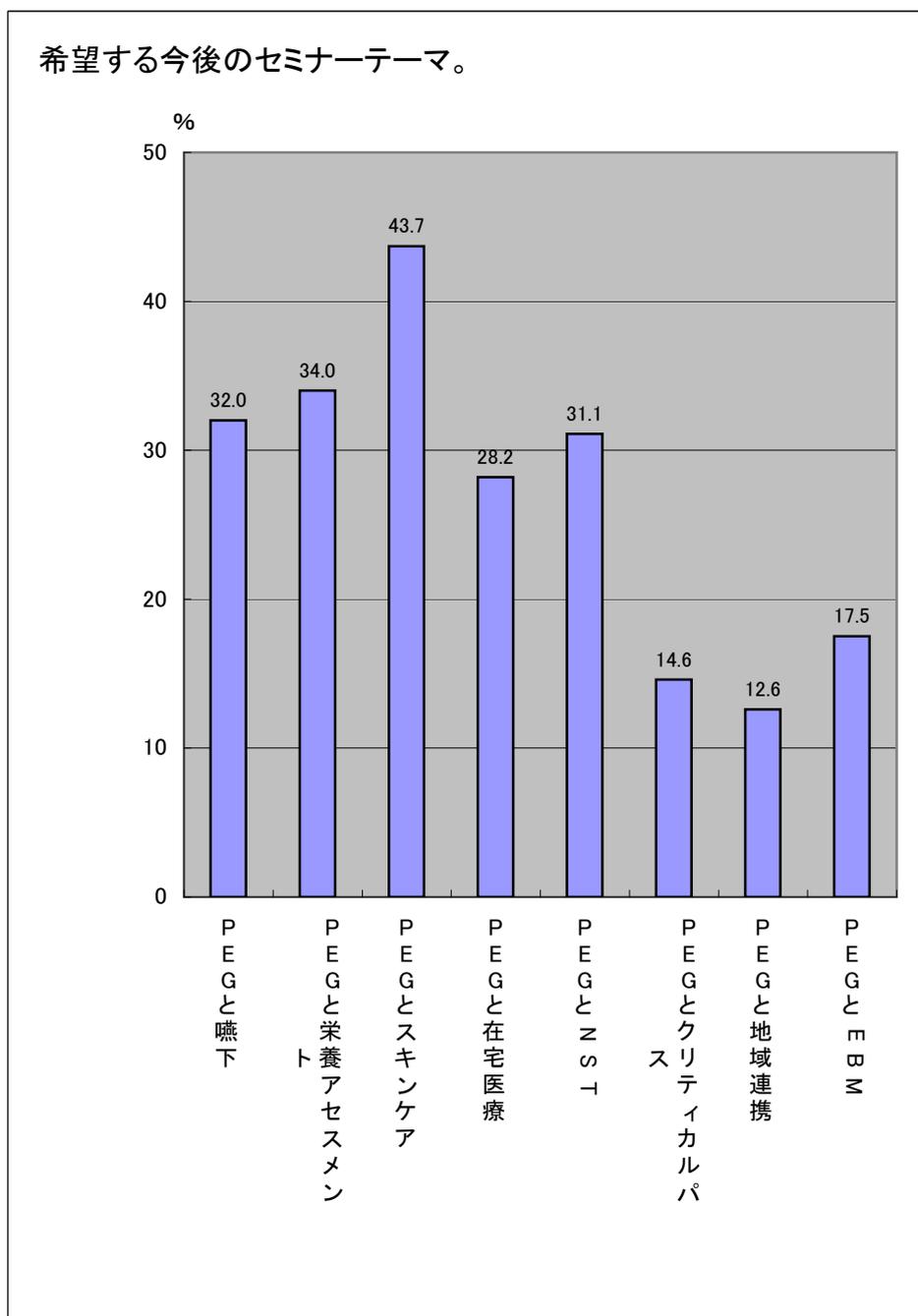
N=65

Ⅲ. セミナーの評価と希望。

□ 今回のセミナーの評価。



□ 希望する今後のセミナーテーマ。



N=103

IV. 自由回答意見。

問. PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をおきかせください。

- ・一般の人々に対する知識の普及が必要。（准看護師、老人保健施設）
- ・PEGに対する正しい認識を社会的に広め、誤解を取り除くこと。（栄養士、一般病院）
- ・胃に穴をあけることに抵抗がある。（看護師、一般病院）（看護師、療養型病床）
- ・胃に穴をあけることに対するご家族の理解が必要。また、栄養管理の必要性も。（看護師、一般病院）
- ・ご家族に適切な説明を行い、理解を得ることが必要。また、PEGをつくれれば経口摂取終了と考えているスタッフがいる。意識の改革が必要。（言語聴覚士、リハビリテーション専門病院）

- ・全ては医師のインフォームドコンセントにかかっている。医師がどれだけPEGを理解し、ご家族に不安を抱かせないかにかかっている。（介護支援専門員、老人保健施設）
- ・開業医や老健施設などでもケアの方法・管理に対する十分な理解が必要。そのためにもセミナー回数を増やしたり、規模を大きくする必要がある。（看護師、一般病院）
- ・ドクターやナースなどの医療従事者は同じ認識を持つことが必要。また、地域での連携も必要だと思う。（看護師、療養型病床）
- ・在宅ドクターのPEG管理についての知識の向上が必要。（看護師、訪問看護ステーション）
- ・老人施設・老人病院のドクターもPEGについての理解を高めてほしい。（看護師、一般病院+療養型病床）
- ・造設後の管理についてはナースだけでなくドクターにもしっかりと理解で対応してほしい。（看護師、療養型病床）

- ・意識の改革が必要。（栄養士）
- ・在宅や転院に向けての各施設に対する指導が必要だと思う。そのためにも県単位でなく市町村単位のセミナーを行うべきだ。（看護師、一般病院）
- ・セミナーや研修会を充実させてもっと勉強する機会を増やしてほしい。（栄養士）
- ・今回のようなセミナーを行っていく必要がある。（准看護師、一般病院+療養型病床）

- ・造設後に少しでも経口摂取ができるようになればと思う。（看護師、一般病院）
- ・経管から胃ろうへの移行のタイミングが大切。（准看護師、療養型病床）
- ・教育、マニュアルの作成、委員会の設置などが必要。（看護師、療養型病床）

『第2回山口県PDNセミナー』アンケート

回収サンプル数:103サンプル

Q1. あなたは、現在、PEGの造設、看護を行っていますか？

1. 行っている(63.1%)

2. 行っていない(36.9%)

↓

└ ⇒Q8へ

(N=65)

Q2. PEGの造設、看護を行うようになってから何年になりますか？

1. ~半年位(6.2%) 2. ~1年位(9.2%) 3. ~3年位(18.5%)
4. ~5年位(33.8%) 5. 5年以上~(26.2%) 不明(6.2%) 平均:3.887年

Q3. 現在、胃ろうを入れられた患者様は御施設に何人いらっしゃいますか？

1. いる(83.1%) ()名 2. いない(15.4%) 不明(1.5%)

Q4. 御施設ではPEGの訪問看護を行っていますか？

1. 行っている(40.0%) 2. 行っていない(36.9%) 不明(23.1%)

Q5. 看護の中で、トラブルにあったことがありますか？

1. ある(72.3%) 2. いまはないが経験がある(20.0%) 3. ない(7.7%)

(N=60)

↓

└ ⇒Q7へ

Q6. どんなトラブルでしたか？(いくつでも)

1. 肉芽形成(63.3%) 2. 皮膚障害(70.0%) 3. 誤嚥性
肺炎(33.3%) 4. 漏れ(68.3%) 5. 閉塞(15.0%) 6. 下痢・
便秘(48.3%) 7. 管やボタンの抜去(61.7%) 8. その他
6.7%

Q7. 看護の中で、いま悩んでいるものはどれですか？(いくつでも)

1. 自己抜去・自然抜去の対策(36.9%) 2. チューブの交換法・交換時期(15.4%)
3. チューブ内腔の汚染(32.3%) 4. 消毒法(7.7%) 5. 肉芽形成・皮膚トラブル
(58.5%) 6. 嘔吐予防策(24.6%) 7. 栄養管理法(10.8%) 8. 下痢(24.6%)
9. トラブル時の相談先がない(0.0%) 10. その他(3.1%) 11. 特にない(4.6%)

Q8. きょうのセミナー「胃瘻の意義・適応」は参考になりましたか？

1. 非常に参考になった(44.7%) 2. 参考になった(54.4%) 3. 参考にならなかった(0.0%) 不明(1.0%)

Q9. きょうのセミナー「内視鏡的胃瘻造設の実際」は参考になりましたか？

1. 非常に参考になった(41.7%) 2. 参考になった(56.4%) 3. 参考にならなかった(0.0%) 不明(1.9%)

Q10. きょうのセミナー「胃瘻の日常ケア」は参考になりましたか？

1. 非常に参考になった(53.4%) 2. 参考になった(43.7%) 3. 参考にならなかった(0.0%) 不明(2.9%)

Q11. 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

1. PEGと嚥下(32.0%) 2. PEGと栄養アセスメント(34.0%) 3. PEGとスキンケア(43.7%)
4. PEGと在宅医療(28.2%) 5. PEGとNST(栄養管理チーム)(31.1%) 6. PEGとクリティカルパス
(14.6%) 7. PEGと地域連携(12.6%) 8. PEGとEBM(根拠にもとづいた医療)(17.5%)
9. その他(0.0%)

Q12. あなたは次のどれにあたりますか？

1. 看護師(66.0%) 2. 准看護師(12.6%) 3. 訪問看護師(0.0%) 4. 介護福祉士(2.0%) 5. 薬剤師
(2.0%) 6. 栄養士(8.7%) 7. 言語聴覚士(2.9%) 8. 理学療法士(0.0%) 9. 臨床心理士(0.0%)
10. 医師(0.0%) 11. その他(5.8%)

Q13. あなたの所属先は？

1. 一般病院(50.5%) 2. 一般病院+療養型病床(12.6%) 3. 診療所(0.0%) 4. 療養型病床(15.5%)
5. 特別養護老人施設(1.9%) 6. 老人保健施設(5.8%) 7. リハビリテーション専門病院(4.9%)
8. 訪問看護ステーション(1.0%) 9. 在宅介護支援センター(4.9%) 10. その他(1.9%) 不明(1.0%)

Q14. 所属先の所在地は？

下関市(80.6%) 山口市(13.6%) 山陽小野田市(1.0%) 周南市(1.0%) 広島市(1.0%)
奈良・橿原市(1.0%) 不明(1.9%)

Q15. PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？

どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をおきかせください。

